



地域政党「みらい福岡」

福岡市議会議員

浜崎太郎の

★イキイキ情報

2016年1月20日発行

Vol.15

<http://www.hamasakitaro.com/>

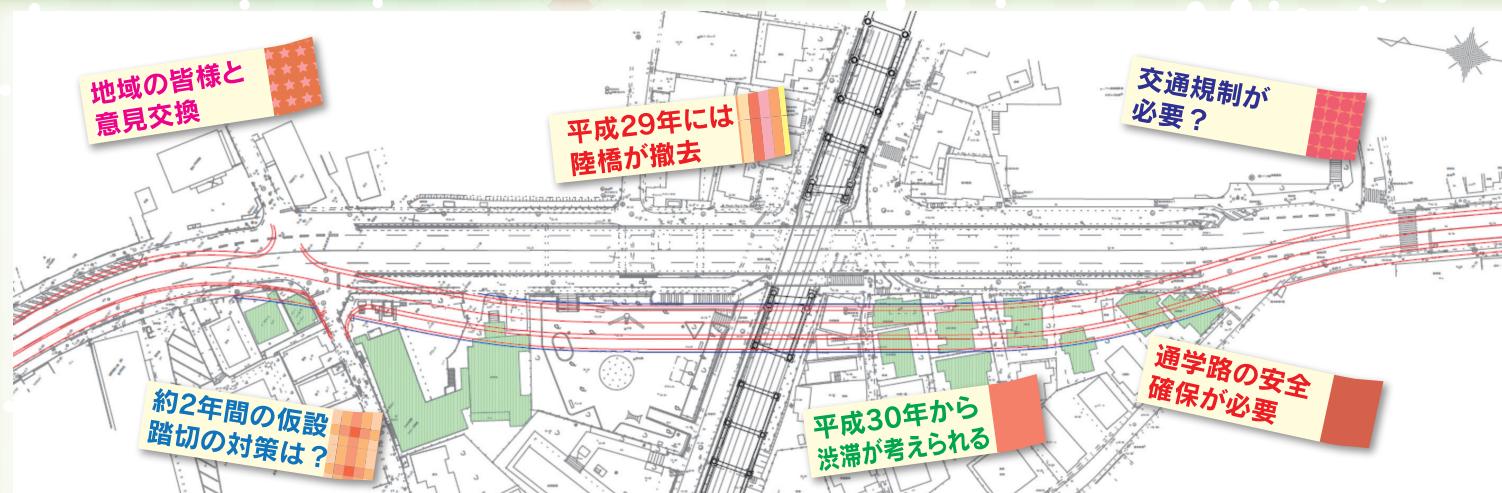
はまさき太郎

検索

西鉄雑餉隈駅高架工事事業はどうなってるの?

- 平成22年度に事業認可を取得後着手した側道及び仮線用地の用地買収は、平成25年春に完了しています。
- 筑紫通りの麦野跨線橋の仮設道路切替につきましては、平成29年からの工事着手に向け、現在用地交渉中。
- 筑紫通りの麦野跨線橋を、平成30年度に仮設道路に切り替える計画で、鉄道が高架化されるまでの2年弱は、仮設踏切が筑紫通りにできます。
- 三筑校区では、平成29年春から三筑小学校側に設置する仮線路上を電車が走行することになります。
- 雑餉隈駅は、仮駅舎を作り、平成30年度から改札口が変わります。
- 新駅は、今のバス営業所の場所にH33年度開業予定。新駅周辺の開発については、今後西鉄が計画していくことになります。

麦野跨線橋の仮設道路切替計画の進捗状況



筑紫通りが西鉄を越えている麦野跨線橋は、連立事業に支障することから、撤去されます。平成29年から図の赤い線で示す仮設道路を整備し、平成30年に麦野跨線橋の通行から仮設道路の通行に切り替えます。その後、仮設道路を車が走行するようになってから、麦野跨線橋を撤去します。最終的には、麦野跨線橋のあった場所を舗装し、筑紫通りを整備します。仮設道路に切り替えることで、2年弱、仮設の踏切が筑紫通りにできることになります。そのため、筑紫通りやその周辺の道路が渋滞することが予想されます。(踏切遮断時間の見込み=朝ピーク時は白木原駅横の春日原6号踏切と同程度)極力、渋滞を緩和し、地域への影響を抑えるためにも、事前の広報や迂回のお願い、通行時間変更のお願い等を、徹底して行わせることが重要です。また、朝ピーク時などに渋滞し、通り抜け車両が通学路等へ入ってくることも考えられます。地域で考える通学路などの安全を確保すべき道路には、交通規制をかけるなどのやり方もあり、市の担当部局と地域の皆様が一緒になって、安全を確保すべき生活道路などを選び、交通規制をかけるべきか、かけるのであれば、どのような交通規制が望ましいかなど意見交換する場を早めに立ち上げることが大事と考えられます。

最低でも、仮設道路に通行を切り替える1年前(平成29年)には、こういった市と地域住民で意見交換する場を立ち上げる予定。また、平成29年度下旬から平成30年度中旬には、徹底した事前広報等を行う必要があります。



高架下の利用権利は西鉄が85%、福岡市が15%といった比率なのですが、地域の皆さんの意見がとても大事です。今後、高架下の有効活用について、皆様方と考える機会を作りたいと思います。

全国にはたくさんの事例があります。右の写真は東京都の事例です。

東京の品川駅の高架下では食堂街みたいに利用しています。



秋葉原～御徒町間では、高架下を商店街みたいに利用しています。

